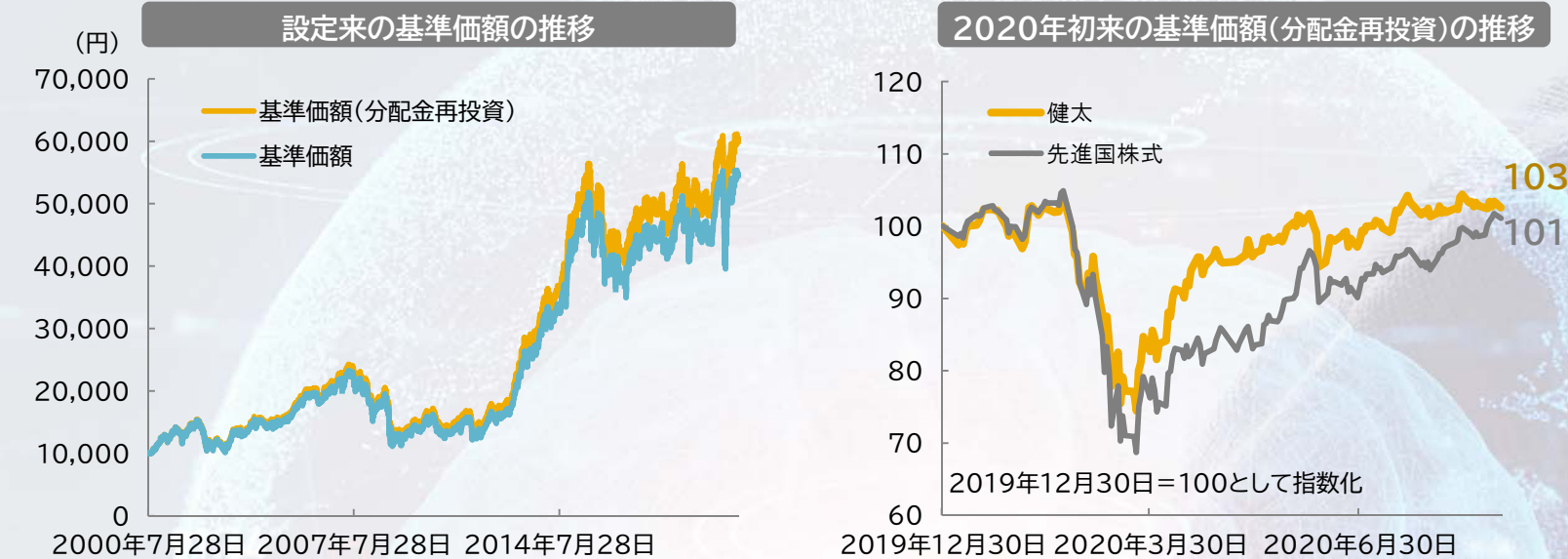


※本資料は「グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン Bコース(為替ヘッジなし)〈愛称:健太〉」の概要について投資家のみなさまにお知らせするために作成したものです。このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモ等については投資信託説明書(交付目論見書)をご確認いただく必要があります。

当ファンドの基準価額の推移

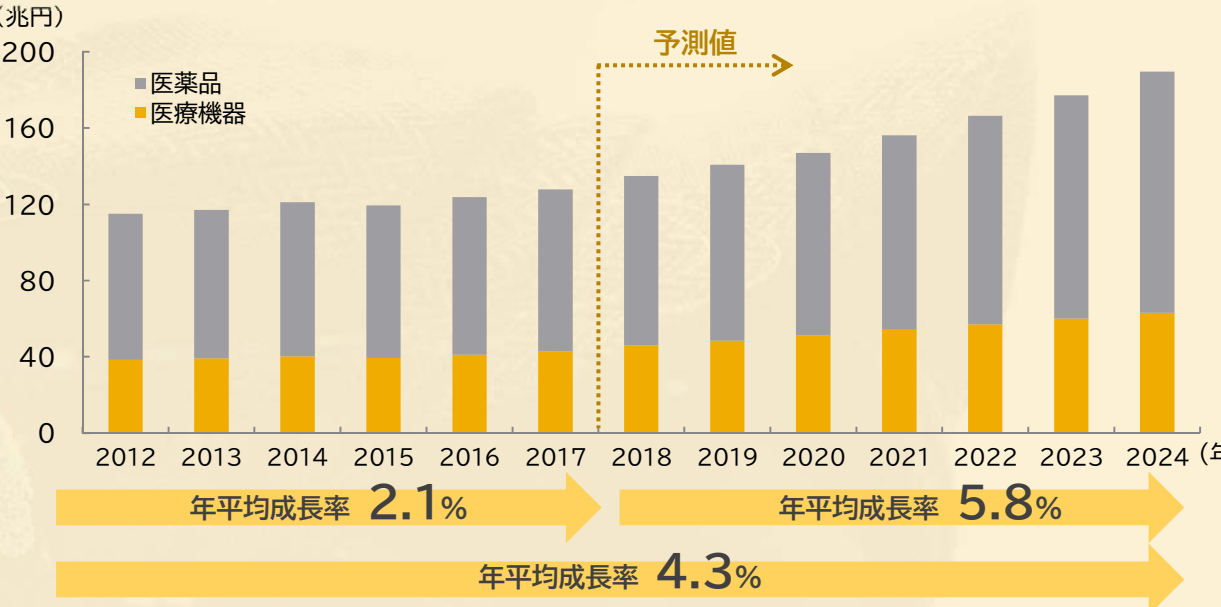
2020年2月下旬以降、新型コロナウイルス(以下、新型コロナ)の世界的な感染拡大を背景に株価は急落し、当ファンドの基準価額も下落しました。ヘルスケアセクターは生命に関わる製品やサービスを提供する業種であることから企業収益が景気動向に左右されにくい傾向があり、2020年3月下旬以降、当ファンドの基準価額(分配金再投資)は上昇基調に転じ、2020年8月14日には設定来最高値61,127円をつけ、2020年初来の水準に回復しています。



・期間:(左図)2000年7月28日(設定日)~2020年8月31日、(右図)2019年12月30日~2020年8月31日・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、1万円当たりであり、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。・信託報酬率は、後記のファンドの費用に記載しています。・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。・(右図)当ファンドと先進国市場全体の動きをお知らせするため、指数を使用しています。先進国株式は指数(米ドルベース、配当込み)を使用し、三菱UFJ国際投信が円換算しています。指数については【本資料で使用する指数について】をご覧ください。・指数は、当ファンドの基準価額の算出基準日に対応する現地時間に基づき記載しております。・出所:Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

世界の医薬品と医療機器の市場規模推移

世界の医薬品と医療機器の市場規模は、2012年から2017年までの年平均成長率2.1%に対し、2018年から2024年の年平均成長率は5.8%とさらなる成長が予測され、2024年には200兆円近くまで到達することが見込まれています。



・医薬品は処方薬。為替は1ドル105.91円(2020年8月31日時点)で計算。計測期間が異なる場合は結果も異なる点にご注意ください。・期間:2012年~2024年(2018年以降は予測値)、出所:EvaluatePharma「World Preview 2020, Outlook to 2026」、EvaluateMedTech「World Preview 2018, Outlook to 2024」を基に三菱UFJ国際投信作成

変わらない成長ストーリー

ヘルスケア業界の3つの成長ポイント

1 先進国の高齢化

医療の進歩等により高齢化が進み、医療支出が拡大

2 新興国の所得増加

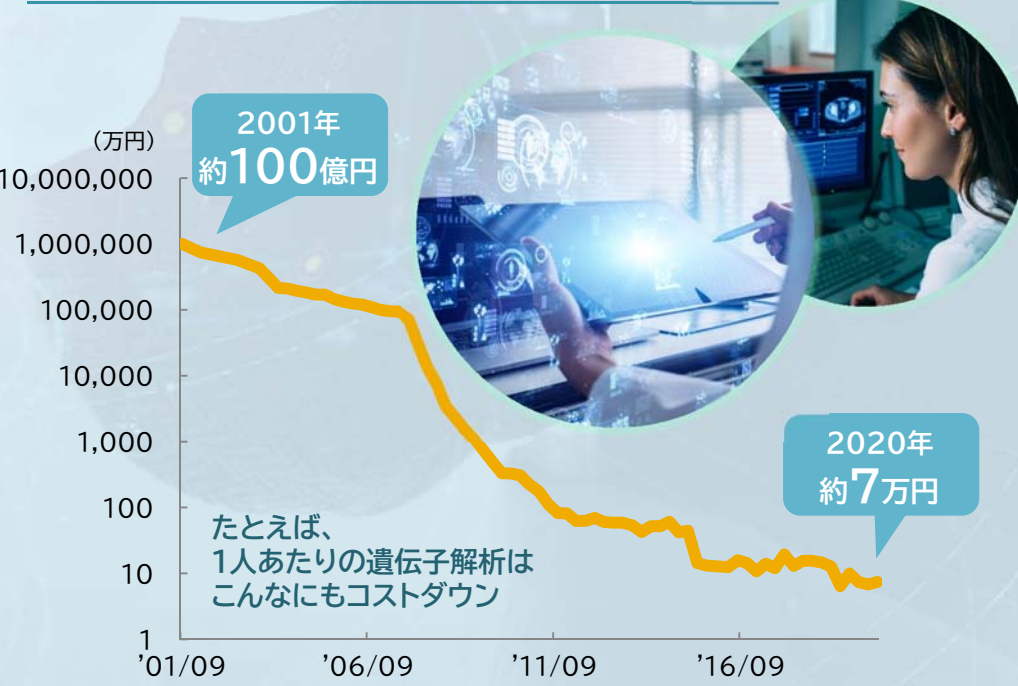
経済成長に伴う所得の増加により、先進国と同様に医療支出が増加

3 バイオ医薬品の発展

バイオ医薬品の売上高は年々増加、難治療分野への展開が見込まれ、世界の医薬品売上高に占める比率も高まると予想

さらなる成長ストーリー

テクノロジーの進化が成長ドライバーに



・期間:2001年9月末~2020年5月末、3ヵ月毎(2003年10月末までは半年毎、それ以降は3ヵ月毎)  
・為替は1ドル105.91円(2020年8月31日時点)で計算。  
・出所:National Human Genome Research instituteのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

《すでに、実用化されているテクノロジー》

- 創薬**
  - AIやビッグデータの活用により、創薬が短期間で可能に。
  - 遺伝子解析装置の進化により創薬のコストダウン。
- 診療**
  - 通信網の発展により、自宅にしながらスマートフォンを介したオンライン診療サービスが登場。5Gの実用化にも期待。
- 医療機器**
  - 血液を採取して測定していた血糖値は、腕に装着するだけで測定ができるウェアラブルセンサーに。
- 手術**
  - 難易度の高い手術を補助する手術支援ロボットが活躍。
  - 手術前に勉強のため臓器をVR(バーチャルリアリティ・仮想現実)などで再現し立体視化するシステムも登場。

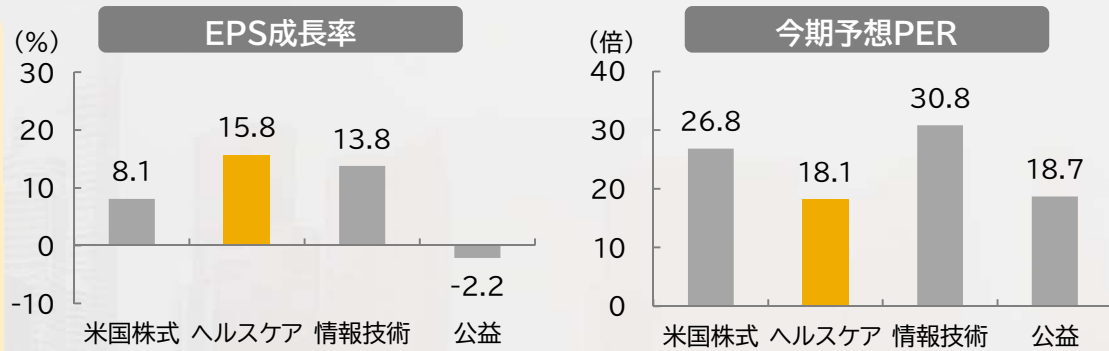
・上記は一例です。



米国ヘルスケア株式のEPS(1株当たり利益)成長率と、今期予想PER(株価収益率)

**EPS**とは、  
1株に対して最終的な**稼ぎ(企業利益)**がいくらあるかを表します。

**PER**とは、  
企業の**稼ぎ**に対して、何倍まで**株価**が買われているのかを表します。**株価のお値打ち感(割高か割安か)**を知るのに役立ちます。



・2020年8月31日時点、EPS成長率は、3期先予想:前年の1株当たり利益(EPS)に対する会計年度の3期先の予想EPSの伸び率を三菱UFJ国際投信が年率換算。・上記は指数(配当なし、米ドルベース)を使用しています。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。・出所:Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

米国大統領選をめぐる米国ヘルスケア株式の動向

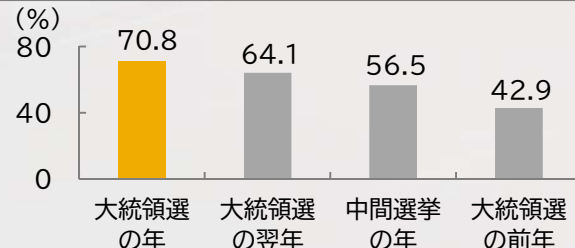
米国大統領選が近づくと、有力候補者による薬価引き下げなどのヘルスケアに絡んだ発言により、関連銘柄の株価が動く傾向があります。そのため、大統領選サイクルで米国ヘルスケア株式のパフォーマンスを見る(下図)と、大統領選挙の年と前年はプラスではあったものの相対的に低くなりました。

しかし、投資開始時期という視点で見るとどうでしょうか。下図は、1996年以降の各月末から5年間米国ヘルスケア株式に投資した場合のリターンを大統領選サイクル毎に平均したものです。**中長期的な視点から見ると、大統領選の年はヘルスケア株式に投資を始める良い時期と言えるのかもしれません。**

米国ヘルスケア株式の年次リターンの平均



米国ヘルスケア株式に5年間投資した場合のリターンの平均



・期間(左図)1996年~2019年、(右図)1996年1月末~2019年12月末・上記は指数(配当込み、米ドルベース)を使用しています。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。・(右図)はシミュレーションであり、実際の運用とは異なります。・税金・手数料等を考慮していません。・出所:Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

当ファンドの組入上位10銘柄

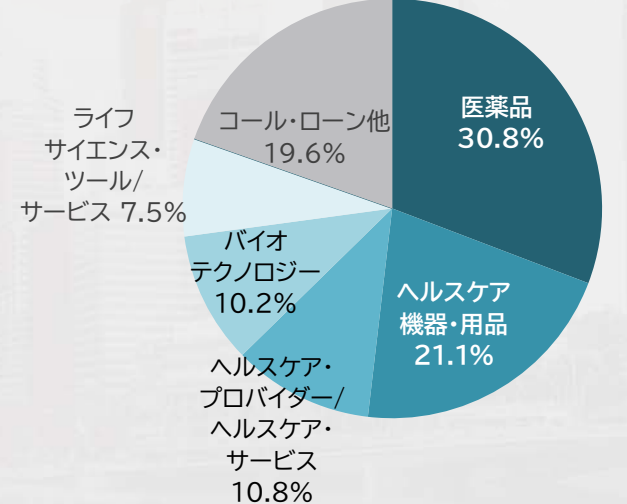
(2020年8月末時点)

| 順位 | 銘柄                    | 業種                      | 比率   |
|----|-----------------------|-------------------------|------|
| 1  | ユナイテッドヘルス・グループ        | ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス | 5.0% |
| 2  | ファイザー                 | 医薬品                     | 4.5% |
| 3  | アストラゼネカ               | 医薬品                     | 3.9% |
| 4  | イーライ・リリー              | 医薬品                     | 3.8% |
| 5  | ノバルティス                | 医薬品                     | 3.7% |
| 6  | ブリistol・マイヤーズ・スクイブ    | 医薬品                     | 3.7% |
| 7  | サーモ・フィッシャー・サイエンティフィック | ライフサイエンス・ツール/サービス       | 3.5% |
| 8  | アボットラボラトリーズ           | ヘルスケア機器・用品              | 2.9% |
| 9  | ダナハー                  | ヘルスケア機器・用品              | 2.5% |
| 10 | エドワーズライフサイエンス         | ヘルスケア機器・用品              | 2.4% |

当ファンドの業種別組入比率

健太は、ヘルスケア業界に属する業種に幅広く投資しています。

(2020年8月末時点)



〈ご参考〉新型コロナに対する各社の取り組み状況 (2020年8月末時点)

新型コロナの影響については、短期的には不透明な部分も多いなどの理由により、当ファンドでは「新型コロナ」という観点のみでの銘柄選定は行っていません\*。しかし、当ファンドは優れた開発力を持つ銘柄に投資しており、結果的に新型コロナに関する銘柄を保有しています。\*ただし、今後中長期的に収益性が期待できると判断できれば、この限りではありません。

アストラゼネカ

8月7日、同社は日本政府と日本国内における新型コロナのワクチン(1億2,000万回分)の供給に向け合意を発表。また8月25日、新型コロナの予防・治療薬である抗体医薬の初期臨床試験の開始を発表。

イーライ・リリー

8月3日、同社はカナダのバイオテクノロジー企業AbCellera社と共同開発する新型コロナの抗体治療薬LY-CoV555について、後期段階の臨床試験の開始を発表。

アボットラボラトリーズ

8月26日、同社の新型コロナの検査キットがFDA(米国食品医薬品局)の緊急承認を得たと発表。同キットの特徴は、コンパクトなサイズで、結果は15分で判明、販売価額が1個5米ドルと安価であること。

・業種は、GICS(世界産業分類基準)の産業分類で分類。ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービスには、病院・保険会社やヘルスケア・サービスの提供者が含まれます。比率は純資産総額に対する割合です。四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。・「新型コロナに対する各社の取り組み状況」については、2020年8月末時点の組入上位銘柄のうち、8月にプレスリリースされた事例の一例を紹介したものであり、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて組み入れることを保証するものではありません。市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

出所:各種資料を基に三菱UFJ国際投信作成

ファンドの目的

信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

ファンドの特色

- 世界主要先進国市場のヘルスケア・バイオ関連企業の株式を主要投資対象とします。
  - ◆世界主要先進国市場の中から、製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス関連企業等の株式に分散投資を行います。
  - ◆株式の組入比率は、原則として現金比率をできるだけ抑え、高位を維持します。
- 財務・収益状況(ファンダメンタルズ)の健全な企業へ長期的な割当度を重視して投資(バリュー投資)を行います。
  - ◆新商品の開発、企業の合併・統合、政策変更等を背景としたヘルスケア・バイオ市場の変化によってもたらされる投資機会に着目します。
  - ◆銘柄選定は、ヘルスケア・バイオ関連企業の財務データや業績見通しといった株価を動かす基本的な要因を重視した分析(ファンダメンタルズ分析)に基づいて行います。企業の事業見通し、新商品の見込み、企業戦略、競争性等に重点を置いたボトムアップ・アプローチを行います。
- 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

資金動向や市況動向等によっては、特色1~特色3のような運用ができない場合があります。
- 株式等の運用にあたっては、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに運用指図に関する権限を委託します。
  - ◆ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーは、1928年に創業した米国最古の運用機関の一つです。
  - ◆ヘルスケア・セクターでは世界最大規模のファンドの運用アドバイザーを受託しています。
- 年1回決算を行い、収益の分配を行います。
  - ◆毎年7月27日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

収益分配方針・分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。・委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。(ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないこともあります。)

将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

投資リスク

基準価額の変動要因:基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動、為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみならず、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。主な変動要因は、株価変動リスク、為替変動リスクです。上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。\*ただし、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドの費用

【購入時手数料】購入金額に対して、**上限3.30%(税抜 3.00%)** 販売会社が定めます。\*ただし、販売会社にご確認ください。【信託財産留保額】換金申込受付日の翌営業日の基準価額に**0.3%**をかけた額【運用管理費用(信託報酬)】日々の純資産総額に対して、**年率2.420%(税抜 年率2.200%)**をかけた額【その他の費用・手数料】監査法人に支払われる当ファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用その他信託事務の処理にかかる諸費用等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。

【本資料で使用している指数について】 ■先進国株式:MSCI ワールド インデックス ■米国株式:S&P500 ■公益:S&P500 業種指数 公益事業 ■ヘルスケア/米国ヘルスケア株式:S&P500 業種指数 ヘルスケア ■情報技術:S&P500 業種指数 情報技術 ・本資料中の指数等の知的財産権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、発行者および許諾者が指数等の正確性、完全性を保証するものではありません。各指数等に関する免責事項等については、委託会社のホームページ(<https://www.am.mufg.jp/other/disclaimer.html>)を合わせてご確認ください。

【GICS(世界産業分類基準)について】Global Industry Classification Standard("GICS")は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor's)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

【本資料に関するご注意事項等】 ■本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■本資料は信頼できる情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

販売会社(購入・換金の取り扱い等)

設定・運用は

販売会社は右記の三菱UFJ国際投信の照会先でご確認いただけます。



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

お客さま専用  
フリーダイヤル  
0120-151034  
(受付時間/営業日の9:00~17:00)

ホームページアドレス: <https://www.am.mufg.jp/>